

旅行業における労働災害発生状況（1999-2022年）

旅行業 コードNo.090201

旅行業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	5	1	5	3	5	6	6	2	2	2	7	8	2	4	9	3	8	5	7	3	7	3	3	8	114
転倒	10	7	10	3	8	14	19	9	7	15	23	18	25	17	18	19	22	20	23	33	20	13	14	13	380
激突		3			1	2	3	2	1	3		2		1	2	1	3	3	4	1	3	1	2	2	40
飛来・落下		2	3									2	1			1			1	2					12
崩壊・倒壊										1			1						1					1	4
激突				2		1			2	3	1	3	1	1	2	1	3	2	1	1	2	1	1		28

物との接触																1	1							2	
感電																									
爆発																									
破裂																									
火災																									
交通事故 (道路)	6	4	2	4	9	7	4	8	6	2	7	6	3	2	2	3	5	3	2	3	2	1	2	2	95
交通事故 (その他)												1	1		1										3
動作の反動無 理な動作	2	7		4	3	3	2	1	2	5	6	2	3	7	6	5	8	6	7	8	9	4	6	5	111

放射線																									
その他の危険物、有害物等										1					1									2	
金属材料			1													1								2	
木材、竹材																									
石、砂、砂利							1								1		1				1		2	6	
その他の材料			1										1	1										3	
荷姿の物			1		2				1	1	1	3	1	1	1	2		1	1	4	2		3	25	
機械装置																									
地山、岩石			1					2								1		1	1			1	2	1	10

立木等											1		1			1								3	
水			1		2										1	1							1		6
異常環境等			1																						2
高温・低温環境														1	1	1	1								4
その他の環境等			1		1		1	1		2	1		2	1	2		2	3	2	3		1		1	24
その他の起因物			1							3	1	2	2	2	4	1	3	4	4	2	5	6	44		84
起因物なし					1			2	2	2	2	8	4	7	3	6	5	3	6	5	3	1	3	2	65
分類不能					1					1	1			3	1		1								8
合計	23	25	24	16	26	34	35	25	20	34	47	45	40	40	44	36	52	40	48	53	47	26	72	33	885

旅行業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	7	8	2	4	8	5	5	5	4	2	10	8	9	7	4	5	2	5	4	7	8	4	9	3	135
10人-29人	6	6	6	5	5	6	10	9	3	9	4	9	4	4	5	7	8	4	10	7	4	5	3	4	143
30人-49人	3	3	1	2	4	6	1	2	1	4	3	4	3	2	3	1	6	4	2	4	2	2	18	6	87
50人-99人	3	1	4	1	3	2	5	2	3	5	4	5	7	6	4	3	3	5	5	5	6	2	28	1	113
100人-299人	3	4	2	2	6	6	4	2	1	7	14	3	4	10	12	10	8	5	9	15	9	5	7	7	155
300人以上	1	3	9	2		9	10	5	8	7	12	16	13	11	16	10	25	17	18	15	18	8	7	12	252
合計	23	25	24	16	26	34	35	25	20	34	47	45	40	40	44	36	52	40	48	53	47	26	72	33	885

旅行業における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

徳島			2													1	1					3		7	
香川			1		1		2	1		1	1					1			1				1	10	
愛媛		1	1				1		1					1										5	
高知										1														1	
福岡							2	2	3	2	2	1		4	3	4	1	6	5	5	3	2	1	1	47
佐賀		1			1										1									3	
長崎	1										1				1						1	1		5	
熊本							1		1		5			3	1	1	2			3	2		1	1	21
大分	1							1					3								1			1	7
宮崎					1										1				1					3	
鹿児島					1								1		1							1	2		6
沖縄		1						1	1	2		2	1							1	2				11
合計	23	25	24	16	26	34	35	25	20	34	47	45	40	40	44	36	52	40	48	53	47	26	72	33	885

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

れ巻き 込まれ																								
切れ・ こすれ																								
踏抜き																								
おぼれ																								
高温・ 低温物 との接 触																								
有害物 との接 触																								
感電																								
爆発																								
破裂																								
火災																								
交通事 故（道 路）	4		1				1						1							1				8

交通事故（その他）																								
動作の反動無理な動作																								
その他							1		1										1				3	
分類不能																								
合計	4		1				2		1			1	1			1			2				13	

旅行業における起因物（大）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物（大）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
動力機械																									
物上げ装置、	4			1				1						1								1			8

備																								
仮設 物、建 築物等														1			1							2
危険 物、有 害物等																								
材料																								
荷																								
自然環 境等																								
その他 の起因 物																				1				1
起因物 なし								1			1													2
分類不 能																								
合計	4			1				2			1			1	1				1				2	13

能																										
合計	4			1				2			1			1	1				1			2				13

旅行業における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
19歳以下																										
20歳-29歳	2							1																		3
30歳-39歳				1				1			1			1				1			1					6
40歳-49歳	1																				1					2
50歳-59歳																										
60歳以上	1														1											2
合計	4			1				2			1			1	1				1			2				13

旅行業における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下	1							1						1				1			2				6
10人-29人	1			1							1														3
30人-49人	1																								1
50人-99人	1							1							1										3
100人-299人																									
300人以上																									
合計	4			1				2			1			1	1			1			2				13

旅行業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																							
香川																							
愛媛																							
高知																							
福岡												1											1
佐賀																							
長崎																							
熊本																							
大分	1																		1				2
宮崎																							
鹿児島																							
沖縄																							
合計	4			1				2			1		1			1			2				13

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

旅行業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の 型	労働 者規 模
2019	7	10 ～ 12	被災者は乗用車に乗り、小学校から道路に入り、直線道路を運転していたところ、対向車線を走っていたミキサー車に正面衝突した。ドライブレコーダーを確認したところ、被災者の運転していた乗用車が、センターラインを越えていた。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	1～ 9
2019	11	10 ～ 12	営業職として業務に従事していた被災者が出勤前に自宅で倒れ、搬送先の病院において急性心筋梗塞により死亡したものの。	その他の 起因物	その他	1～ 9
2016	5	9 ～ 10	被災者が、自身の勤務するビル7階の事業場の窓から、直下の歩道へと墜落し死亡した。墜落高さ22.9m。災害発生状況を確認した者はおらず、通行人が、倒れている被災者を発見した。	建築物、 構築物	墜落・ 転落	1～ 9
2013	11	12 ～ 13	添乗員（被災者）は、ツアー客の昼食のために立ち寄ったレストランにおいて、ツアー客を席へ案内していて、階段の2階から1階へ転落した。その際、1階にある柱に頭部を強打し、病院に搬送されたが死亡した。	階段、棧 橋	墜落・ 転落	50 ～ 99
2012	1	8 ～ 9	被災者が運転する観光バスは、日帰りバスツアーで目的地へ向かって、高速道路のトンネル内の追い越し車線を走行中、突如、走行車線から追い越し車線へ車線変更してきたトラックに激突され、バスに乗車していた添乗員が死亡、運転手が足を打撲する怪我を負った。	トラック	交通事 故（道 路）	1～ 9
2009	7	1 ～ 2	社内にて新たな企画を上司に説明している際、意識を失い、救急車にて病院へ搬送されたが意識が回復せず翌日に死亡した。	起因物な し	その他	10 ～ 29

2006	10	16 ～ 17	被災者が市道（優先道路）を営業車で走行中、対向車線を走行していた4トントラックが脇道から進入してきた2トントラックに激突されたはずみで車線を横断し、被災者の車に激突した。	トラック	交通事 故（道 路）	50 ～ 99
2006	5	14 ～ 15	旅行の日程等打ち合わせ終了後、不調を訴え自宅へ薬を飲みに帰ったところ倒れた。	起因物な し	その他	1～ 9
2002	11	15 ～ 16	乗用車で国道を走行中、交差点で右折のため停車中の大型トラックに追突した。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	10 ～ 29
1999	8	10 ～ 11	普通乗用車で有料バイパスを走行中、運転を誤って中央分離帯に乗り上げ、さらにトンネル入り口の壁に激突した。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	50 ～ 99
1999	9	18 ～ 19	バスの添乗員が乗客をバスから降ろして、会場まで先導したのち、近くの交差点を横断していたところ、右折してきた軽四自動車にはね飛ばされた。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	1～ 9
1999	8	14 ～ 15	ツアー客を乗せた観光バスが国道を走行中、対向の自動車運搬専用トラックがカーブを曲り切れずに中央線をはみ出して観光バスと正面衝突し、観光バスの添乗員が死亡し、運転手とガイド及びトラック運転手が負傷した。	トラック	交通事 故（道 路）	10 ～ 29
1999	1	11 ～ 12	得意先訪問のため自動車で行中、路肩に止まってチェーンを付けていた乗用車に気づき手前でブレーキをかけたところスリップし、止まっていた乗用車に衝突した。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	30 ～ 49

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。